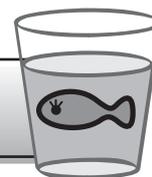


4 調査日の状況



今年は、5月31日に台風4号が四国に上陸したほか、6月10日に梅雨入りしてからは、活発な前線の影響で雨が多く降りました。上流の早明浦ダムの貯水量も常に満杯に近い状態でした。

また7月に入っても、梅雨前線が停滞し、ぐずついた天気が続いていましたが、7月26日に例年に比べ9日程度遅く梅雨明けが発表されました。

(1) 当日の気象

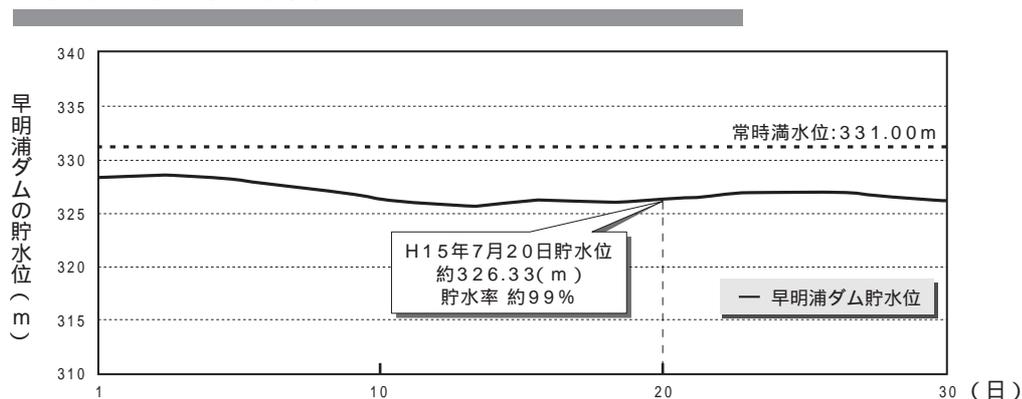
徳島県、愛媛県東予東部、高知県中部に「雷注意報」が発令されていました。また、山間部では小雨が降るなど吉野川流域ではぐずついた天気となりました。

(2) 降雨と流量(水量)

7月は梅雨前線の影響で豊かな降雨に恵まれたこともあり、河川を流れる流量は常に多い状態でした。

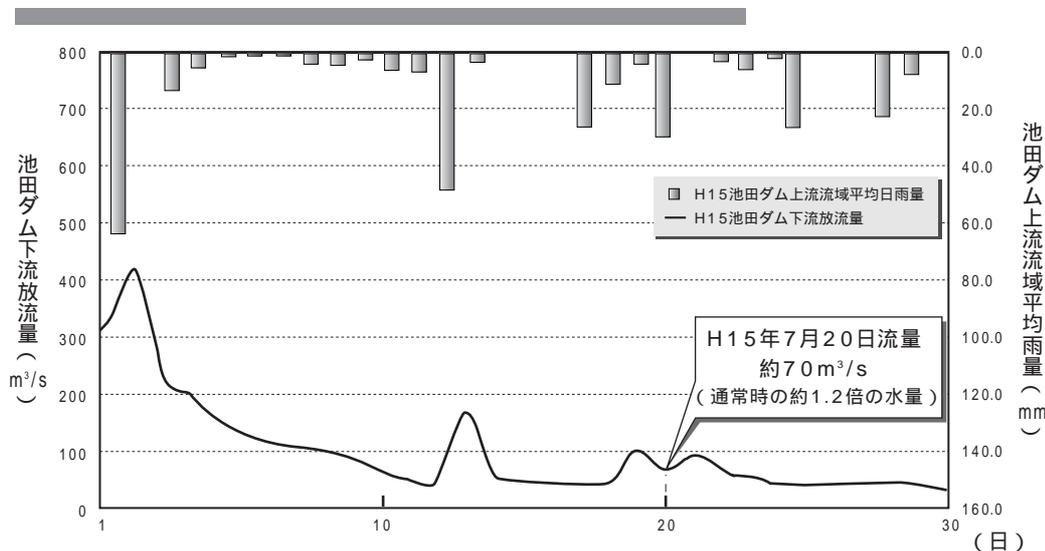
調査当日の7月20日も、前日までの雨の影響で多くの河川で流量が多く、吉野川本川では通常の7月の約1.2倍の流量が流れ、降雨による川の濁りが多くの河川で報告されました。

平成15年7月の貯水位



貯水位は、水資源開発公団資料による。

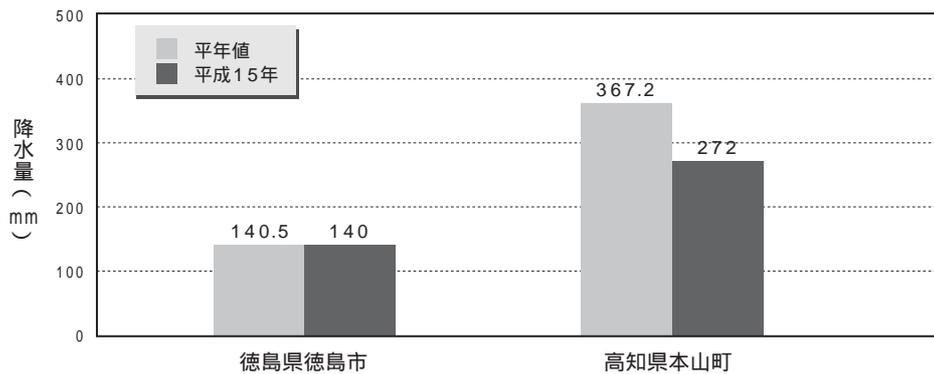
平成14年7月及び平成15年7月の降水量と河川流量



降水量は、国土交通省及び水資源開発公団資料による。

池田ダム下流放流量は、水資源開発公団資料による。

平成15年7月の月間降水量



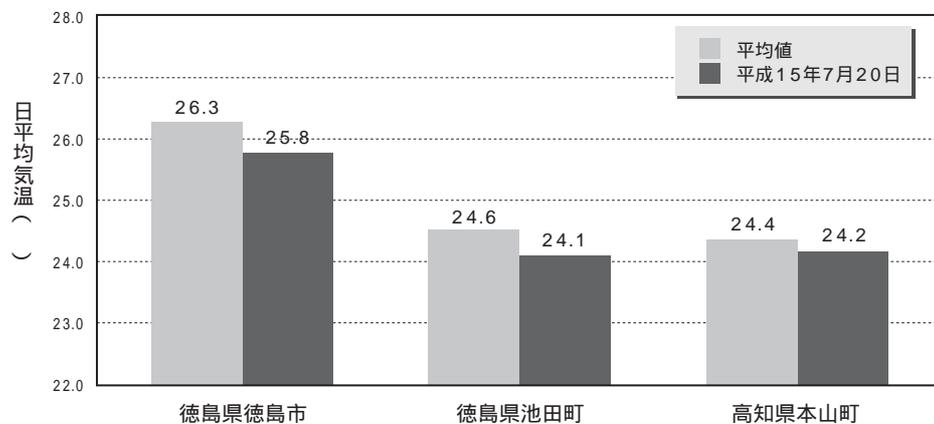
平年値とは、1979年～2000年における7月の観測値の平均値である。
データは徳島地方気象台及び高知地方気象台資料による。

(3) 気温と水温

調査当日の7月20日は、曇りで日平均気温は徳島市で25.8、池田町で24.1、上流域の高知県本山町で24.2と平年値を約0.2～0.5下回り、例年に比べると涼しい中での調査となりました。

水温は、前日までの降雨の影響で吉野川本川など、一部の河川や地点では低い地点も見られましたが、その他の河川では概ね平年と同程度の水温でした。

7月20日の気温（徳島市、池田町、本山町）



平年値とは、1979年～2000年における7月の観測値の平均値である。
データは徳島地方気象台及び高知地方気象台資料による。

7月20日の水温（吉野川池田地点）

	池田地点水温 (℃)	
	7月の月平均水温	7月20日の水温
平成15年	20.5	21
平均値	21.7	
平均値との水温差	-1.2	-0.7

池田地点水温とは、池田ダム放水口におけるAM9:30の水温
平均値とは、1993～2002の10年間の7月の平均値である。
データは水資源開発公団資料による。